

ツール特集

若手社員配布用

「働き方を考える」書籍ガイド

～文学作品を手がかりに問い直すキャリアの今とこれから～

有限責任あずさ監査法人 大阪事務所 シニアマネジャー 奥 憲太

■ VUCA時代の“働くこと”を考えるヒント

若手・中堅社員にお勧めの書籍というと、経営理論、歴史、人生訓のようなジャンルが定番だ。しかし、今はVUCA（不安定・不確実・複雑・曖昧）の時代であり、必ずしも定番の通用しない混乱期ともいえる。市場も会社も働き方も大きく変化する時代において「自分はなぜ働くのか」という根源的な問いに向き合うことの難度は増している。こうした思考を深めるには、文学作品がよい刺激になる。今回は、最近の作品も含めてオリジナルの書籍ガイドを企画した。内定者、新入社員、先輩社員の皆さん，“働くこと”を考えるヒントにどうぞ。（編集部）

■ “明日の働き方に効く”文学ガイド

2017年6月に『働く文学』（東海教育研究所）を上梓させていただいた。その本では特に若いビジネスパーソン向けに、働くことを描いた小説を解説している。今回の特集では、そのとき紹介した作品も含めて、“明日の働き方に効く”文学をまとめた。系統立った構成ではなく、これまで読んできた様々な作品から参考になりそうなものをチョイスしている。紹介にあたっては、入手のしやすさと、読みやすさ（文庫になっているもの、あまり長くないもの）を重視した。興味があるものがあれば、ぜひ手に取って読み込んでみてほしい。（著者）

■ 奥 憲太（おく けんた）：

1969年生まれ。大学在学中にバックパッカーで世界各国を回る。（株）ミキ・ツーリストにて法人営業を経験後、人事部にて採用、研修、人事制度企画、社内メンタルヘルス体制の構築等をする。現在は有限責任あずさ監査法人にて採用、人材育成、経営企画等に従事。産業カウンセラー、キャリアコンサルタントとしても研究・執筆・活動をしている。著書に『働く文学 仕事に悩んだ時に読んでほしい29の物語』（東海教育研究所）などがある。



CONTENTS

- No. 0 はじめに
- No. 1 『ア・ルース・ボーイ』 佐伯一麦（新潮文庫）
- No. 2 『何者』 朝井リョウ（新潮文庫）
- No. 3 『フルタイムライフ』 柴崎友香（河出文庫）
- No. 4 『ロックンロールミシン2009』 鈴木清剛（小学館文庫）
- No. 5 『日本三文オペラ』 開高健（新潮文庫）
- No. 6 『ポトスライムの舟』 津村記久子（講談社文庫）
- No. 7 『江夏の21球』 山際淳司（角川文庫）
- No. 8 『光る壁画』 吉村昭（新潮文庫）
- No. 9 『毎日が日曜日』 城山三郎（新潮文庫）
- No. 10 『李陵・山月記』 中島敦（新潮文庫）
- No. 11 『絹と明察』 三島由紀夫（新潮文庫）
- No. 12 『長距離走者の孤独』 シリトー（新潮文庫）
- No. 13 『老人と海』 ヘミングウェイ（新潮文庫）
- No. 14 『城』 カフカ（新潮文庫）
- No. 15 『駱駝祥子』 老舍（岩波文庫）

本シートのPDFファイルをご用意しました。本誌年間購読者様に限りご提供します（無料）。ご希望の方は editors@busi-pub.com まで購読者番号（本誌送付の宛名ラベルに記載）を明記の上、E-mailでお申し込みください（TEL・FAXは不可）。2017年10月30日まで。